

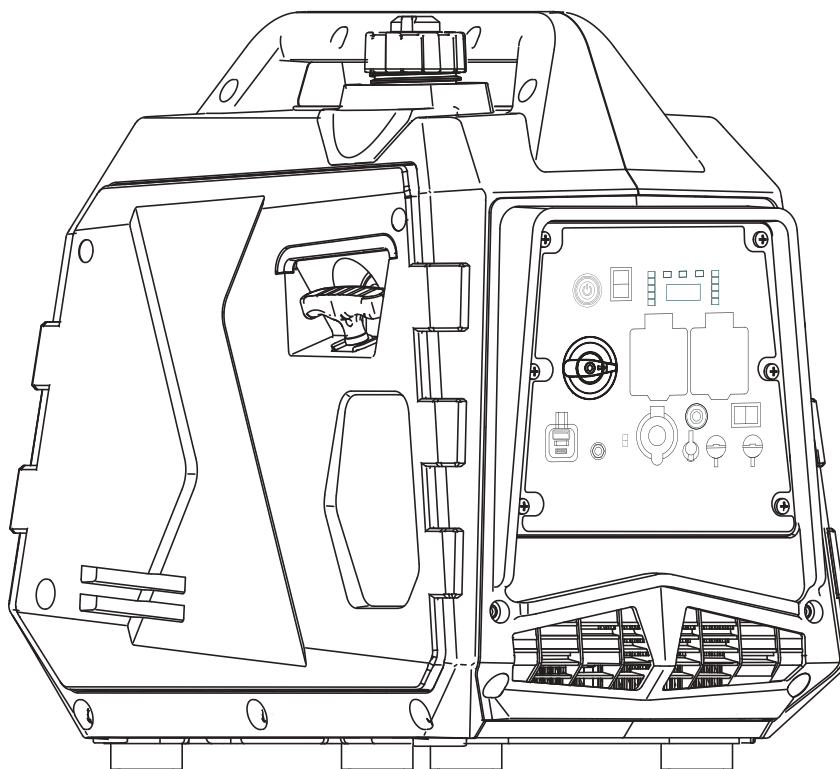
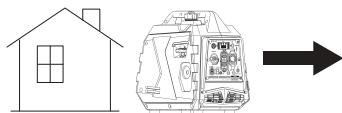
SIG-2500PA

セル式インバーター発電機
INVERTER GENERATOR

取扱説明書

この度は、本製品をお買い上げいただきありがとうございました。

- ご使用前に、この取扱説明書をよく理解し正しく安全にご使用ください。
- お読みになった後も大切に保管してください。

**屋外のみ**






はじめに

この度は、**PAACK**「セル式インバーター発電機」をお買い上げいただきありがとうございました。

安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

安全に関する表示について

本書では、運転者や他の人が傷害を負ったりする可能性のある事柄を下記表示を使って記載し、その危険性や回避方法などを説明しています。これらは安全上特に重要な項目です。必ずお読みいただき指示に従ってください。

 危険	人が死亡または重傷などを負う可能性が高いと考えられる内容です。
 警告	人が死亡、または重傷などを負う可能性が想定される内容です。
 注意	人が損傷を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容です。
 禁止	取扱においてその行為を禁止します。
 指示	指示に基づく行為を強制します。

この取扱説明書は、仕様変更等によりイラスト、内容が一部実機と異なる場合があります。

目次

はじめに	P.01
目次	P.02
安全にお使いいただくために	1-1	P.03
	1-2	P.04
	1-3	P.05
各部の名称と取り扱い	2-1	P.06
付属品	P.07
別売品	P.07
各部の名称と取り扱い	2-2	P.08
	2-3	P.09
	2-4	P.10
	2-5	P.11
	2-6	P.12
運転前の点検	3-1	P.13
	3-2	P.14
	3-3	P.15
発電機のかげ方	4-1	P.16
	4-2	P.17
解りやすい、始動・停止方法	4-3	P.18
防護カバーの外し方とバッテリーコネクターの位置	4-4	P.19
電気の供給方	5-1	P.20
	5-2	P.21
	5-3	P.22
	5-4	P.23
点検・整備の仕方	6-1	P.24
	6-2	P.25
	6-3	P.26
	6-4	P.27
点検・整備の仕方	7	P.28
一時保管・長期保管	8	P.29
		P.29
不具合時の対応	9	P.30
仕様諸元	10	P.31
配線図	11	P.32
保証期間およびお問い合わせ	12	P.33
保証書		

運転、保守、点検の前に必ずこの取扱説明書、および商品本体に貼付されているラベル全てを熟読し、正しくご使用ください。商品の知識、安全の情報そして注意事項の全てに習熟してからご使用ください。

危険

❗ 燃料補給時など燃料取扱時には、火気厳禁

タバコを吸ったり、炎や火花などの火気を近づけないでください。燃料はエンジンを止めてから補給してください。燃料への引火や火災の原因となります。

⊘ 本機付近に障害物や危険物、燃えやすい物を置かない

建物およびその他の設備から1m以上離して設置してください。火災や故障の原因となります。

⊘ 燃料をこぼさない

燃料がこぼれた場合は、きれいに拭き取り、乾かしてからエンジンを始動してください。拭き取った布切れなどは、火災と環境に十分に注意して処分してください。

⊘ 車内、テント内、倉庫など室内および換気の悪い場所では運転しない

エンジンの排気ガスには有害な物質が含まれているため、ガス中毒を起こす原因となります。

⊘ 傾斜地で使用しない

平坦・水平で硬い場所で使用してください。また、運搬時は燃料を抜いてください。燃料タンクキャップやキャブレターから燃料がこぼれ、火災の原因となります。

⊘ 本機の周りにガソリン、または危険物や燃えやすい物を近づけない

本機から出る排気ガスは熱くなります。本機や本機に接続された電気機器に損傷を起こすだけでなく、思わぬ事故を起こす原因となります。

⊘ 電力会社からの電気配線には絶対接続しない

本機や接続の電気機器を故障させたり、火災あるいは人身事故の原因になります。

⊘ 雨の中や水のかかる場所では使用しない


雨や水で濡れた発電機や接続の電気機器を使用したり、また濡れた手で操作すると感電するおそれがあり危険です。

 危険 **本機を分解、修理、改造しない**


取扱説明書に記載されている以外の分解や修理・改造は絶対に行わないでください。異常動作してけがをする、また本機や本機に接続された電気機器が故障する原因となります。

 **エンジンを始動させる前に必ず運転前点検を行う**

人身傷害や機械の破損を防止することができます。点検を行わないと、手や足をはさんだり、思わぬ事故が起きる原因となります。

 **長期保管前には燃料タンクやキャブレター内の燃料を抜き取り、本機を火気や湿気、凍結のおそれのない場所に保管する**

抜き取った燃料は火災や爆発の原因となりますので、適切に処理してください。

 **点検や清掃時は必ずエンジンを停止し、誤ってエンジンが始動しないようにエンジンスイッチをOFFの位置にし、点火プラグキャップを取り外す**

エンジン停止直後のエンジン本体や排気口などは非常に熱くなっています。やけどをしないように、各部が十分に冷えてから作業を行ってください。

 警告 **熱くなっている排気口やエンジン各部をさわらない**

やけどの原因となります。

 **本体に直接砂ぼこり、粉じん、煤煙などがかかる場所では使用しない**

エンジン部品の早期摩耗の原因となります。始動時や運転中は、高圧コードや点火プラグ、点火プラグキャップに触れない感電の原因となります。

 **エンジン部や排気口部が十分に冷えるまで、本機にカバーを掛けない**

火災の原因となります。

 **使用中に音、振動などで異常を感じたら直ちにエンジンを停止する**

お買い上げ販売店またはサービス店にお申しつけください。燃料が皮膚や衣類にこぼれた場合は、石けんと水で直ちに洗い、衣類は取り替える。燃料を飲み込んだり、燃料蒸気を吸い込んだり、燃料が目に入ったりした場合には、直ちに医師の診察を受けてください。

 **運搬、保管、運転時のいずれも本機が落下、横倒、破損などしないよう水平を保つ**

エンジンが故障したり、残っているガソリンがあふれたりする場合があります。特に運搬時には転倒しないようロープなどでしっかり固定してください。

1-3

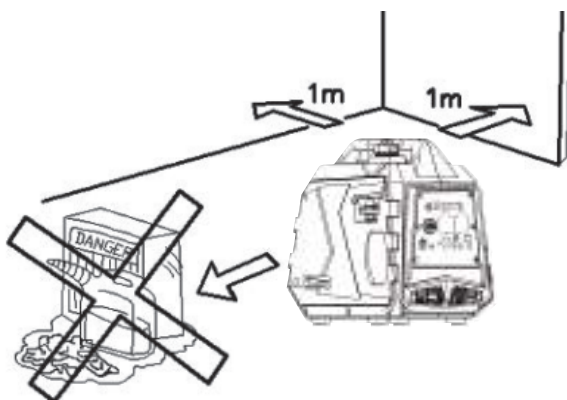
安全にお使いいただくために



室内や換気の悪い場所では絶対に使用しないでください。



雨の中や水のかかる場所では使用しないでください。



始動する前に電気製品を接続しないでください。



給油中はタバコやマッチなどの火気を近づけないでください。

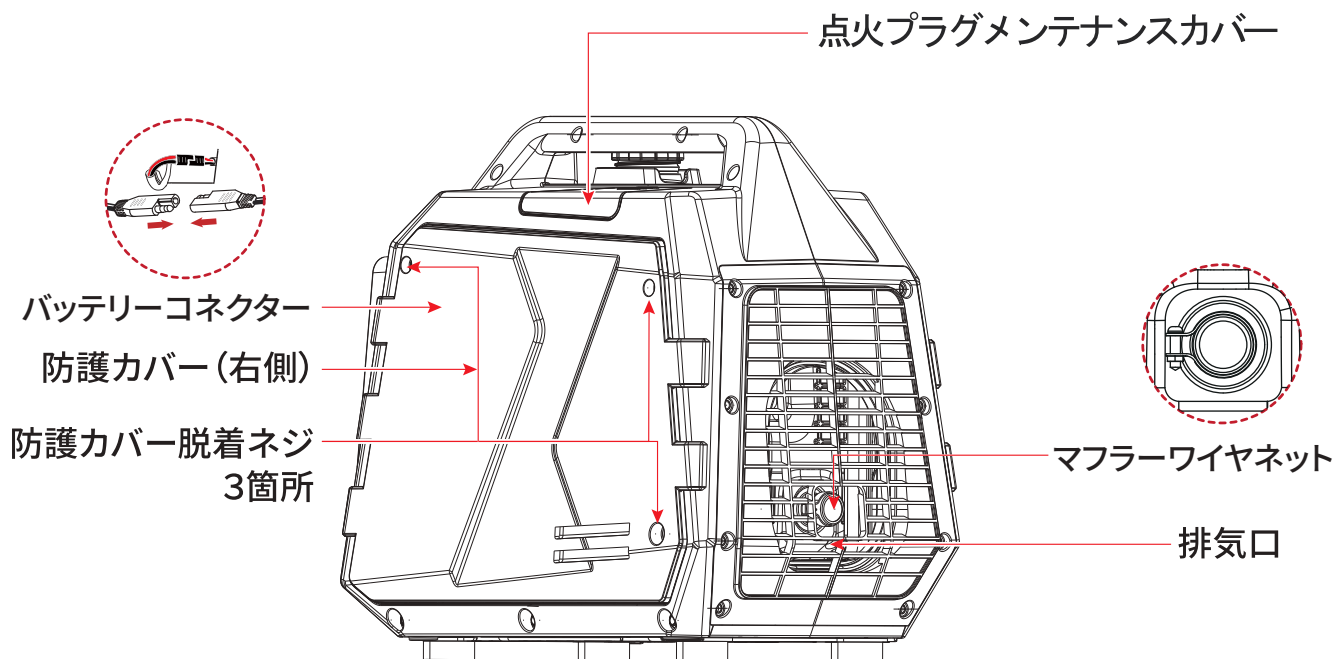
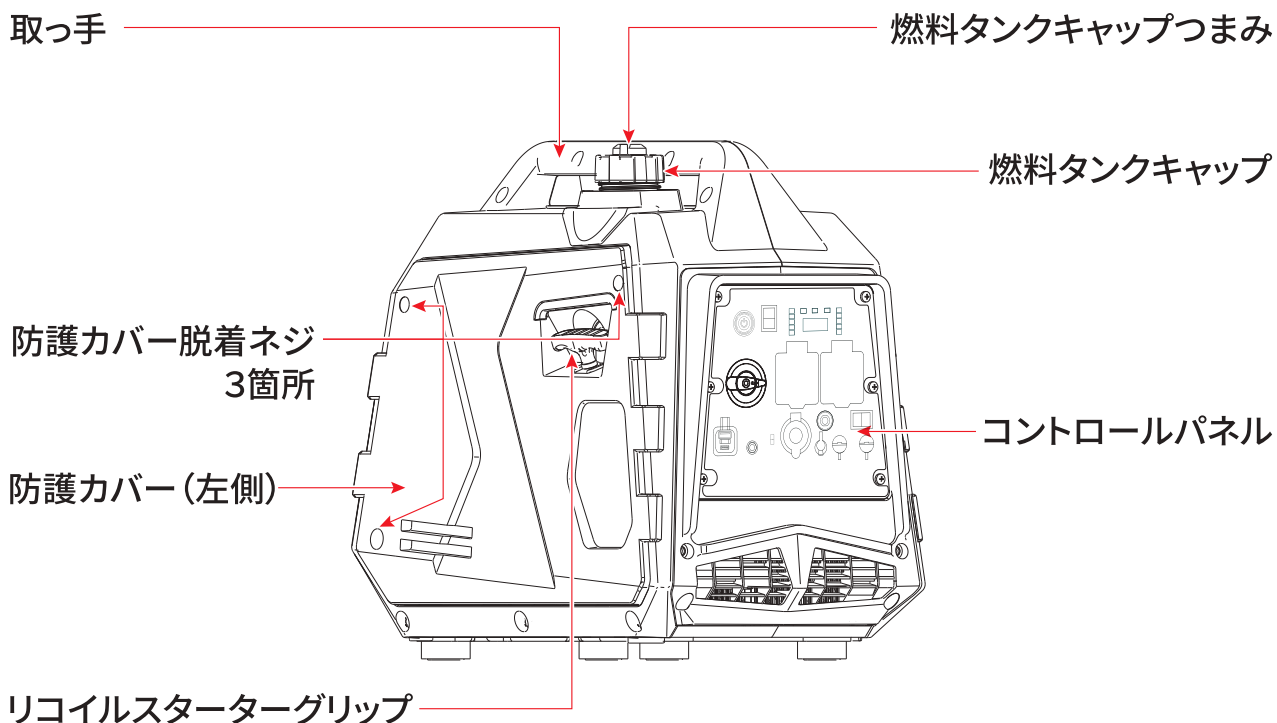


給油中は燃料をこぼさないでください。

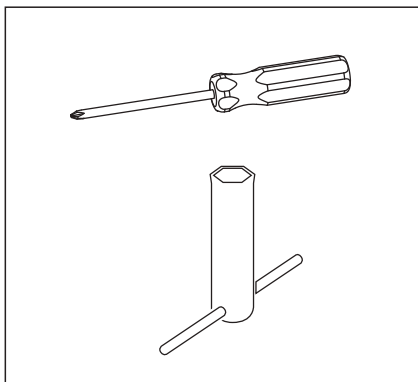


燃料の給油は必ずエンジンを停止し、エンジンが十分冷えてから行ってください。

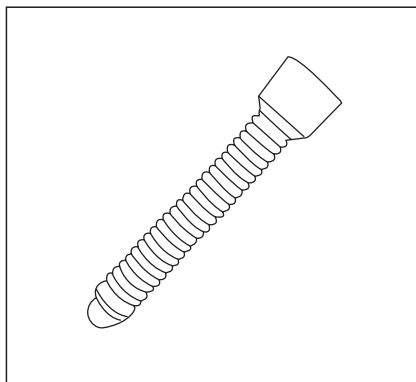
各部の名称



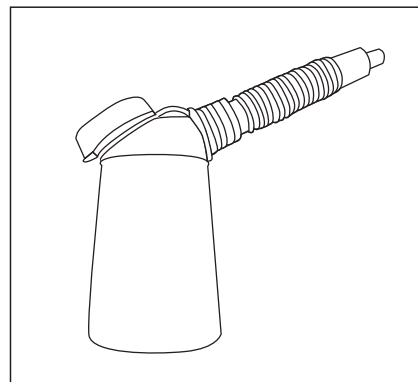
付属品



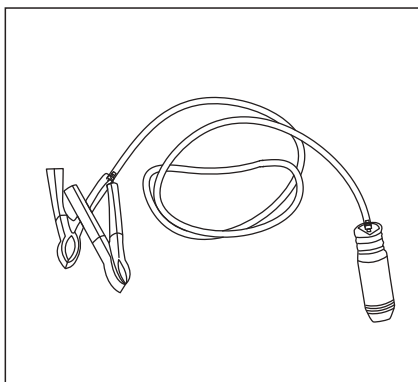
±ドライバー
プラグレンチ+バー × 各1個



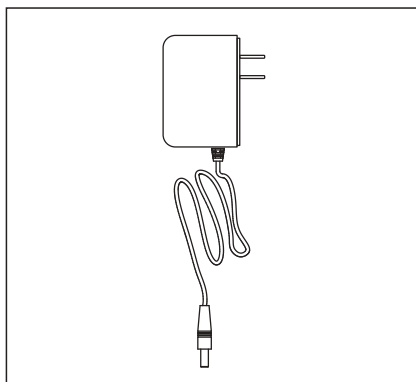
オイル排出用ホース × 1個



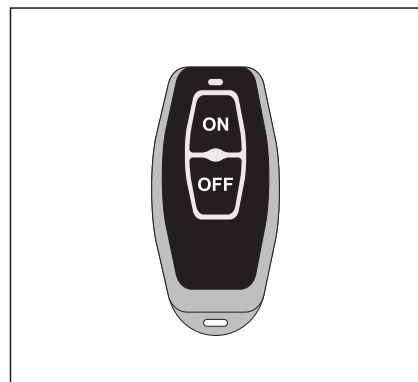
オイルボトル × 1個



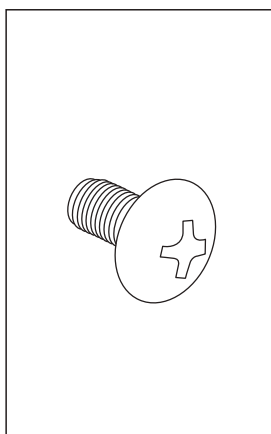
品名	バッテリーチャージケーブル
品番	BCC-2500PA
JANコード	4975846510630



品名	充電専用ACアダプター
品番	CAK-2500PA
JANコード	4975846510661



品名	リモコンスタートキー
品番	RCK-2500PA
JANコード	4975846510647



防護カバー取付ネジ
予備 × 3個

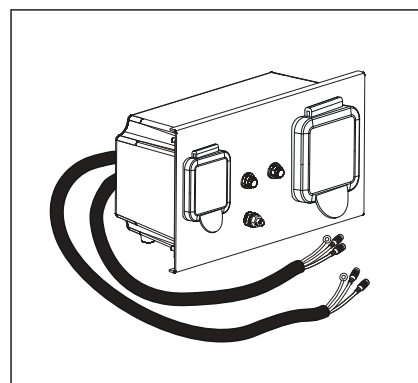


かんたんスタート/
ストップガイド × 1枚



取扱説明書 (本書)
× 1部

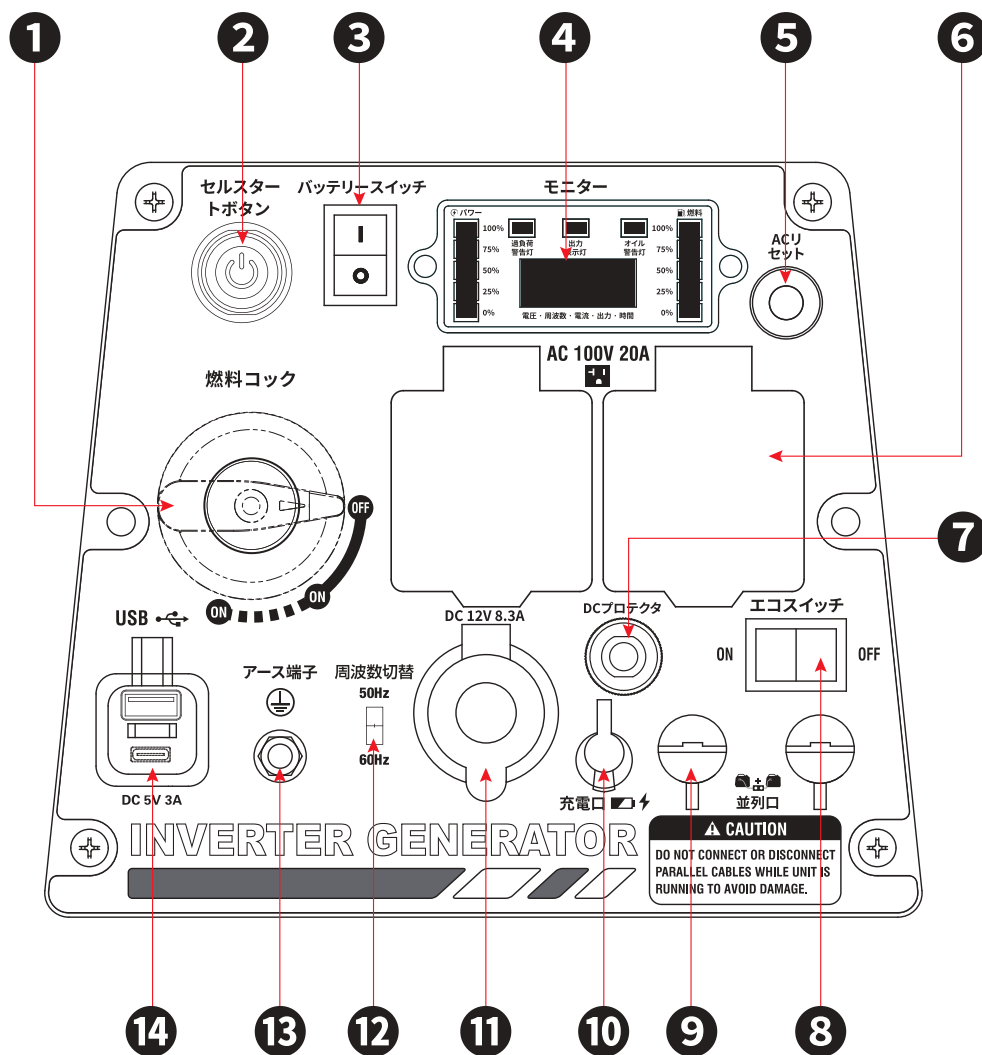
別売品



品名	並列運転用コンセントボックス
品番	POB-2500PA
JANコード	4975846510654

※お買い求めの販売店に問い合わせをお願いいたします。

コントロールパネル部



① 燃料コック

② セルスタートボタン

③ バッテリースイッチ

④ LCDモニター

⑤ ACリセットスイッチ

⑥ ACコンセント 100V/20A

⑦ DCプロテクタ

⑧ エコスイッチ

⑨ 並列運転端子

⑩ バッテリー充電口

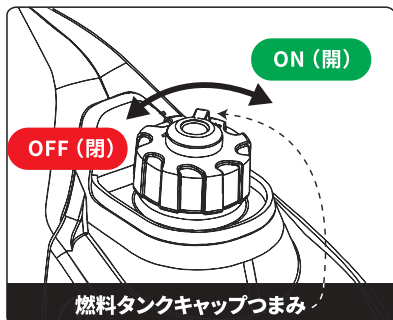
⑪ DCシガーソケット

⑫ 周波数切替スイッチ

⑬ アース端子

⑭ USBデュプレックス

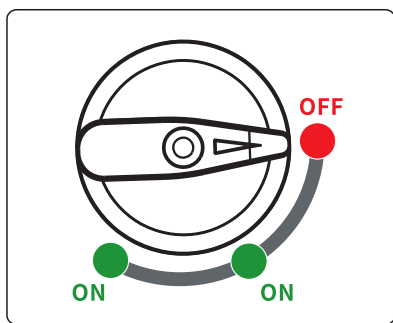
各部の取り扱い

**① 燃料タンクキャップつまみ**

燃料タンク内と外気との通気穴の開閉装置です。本機を運転、停止する時に操作します。

ON (開) 発電機運転時

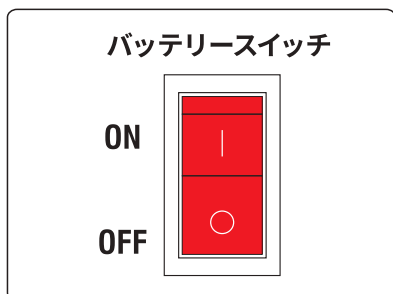
OFF (閉) 停止、運搬、保管時

**② 燃料コック**

燃料の流れを制御し、エンジンの始動、停止を行います。OFF (閉) のままだとガソリンが流れなくて、エンジンが始動できません。

ON (開) エンジンをかける時の位置です。

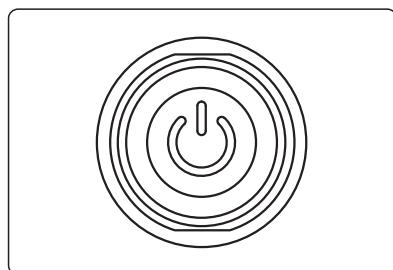
OFF (閉) 初期状態です。停止および保管、運搬時の位置です。

**③ バッテリースイッチ**

バッテリーの点火回路を制御する装置です。

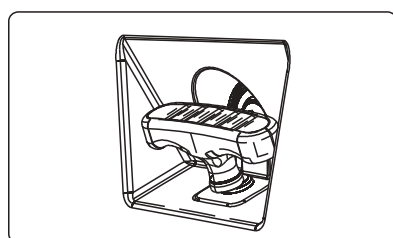
ON (開) バッテリーの点火回路が開けられ、発電機を起動することができます。

OFF (閉) バッテリーの点火回路を閉められ、発電機が運転停止となります。

**④ セルスタートボタン**

バッテリーの電力を利用し、モーターを回転させ、その動力でエンジンを始動させる装置です。バッテリーコネクターが接続済み、バッテリースイッチがONの状態、セルスタートボタンを1回短く押すとエンジンが起動します。もう1回短く押すとエンジンが停止します。

※ リモコンスタートキーでも操作できます。

**⑤ リコイルスターターグリップ**

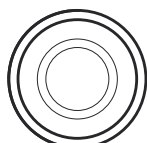
エンジンを始動させるときに使用します。

⚠ 注意

バッテリー残量が少なくなる時、リコイルスターターで起動する場合もバッテリーコネクターを接続し、バッテリースイッチをONにする必要があります。

各部の取り扱い

ACリセットスイッチ

**6 ACリセットスイッチ**

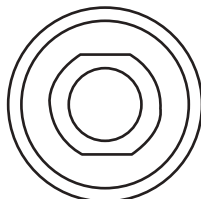
過負荷警告ランプが点灯および出力表示ランプが消灯し、電気が供給されなくなった時、このボタンを押してリセットすることで、出力表示ランプが点灯し電気の供給が再開されます。

このボタンを押す前に下記を確認してください。

- ・本機から使用している電気機器を取り外してください。
- ・電気の供給がすぎないか。

使用する電気機器は必ず定格出力内で使用してください。

DCプロテクタ

**7 DCプロテクタ**

シガーソケットの温度がDCプロテクタ（過熱保護装置）に設定された温度を超えた時にDCプロテクタボタンが飛び出して“断”になり、電気が取り出せなくなります。接続配線に異常がないか、また電気の取り出し過ぎがないか確認してからDCプロテクタを“入”にします。

周波数切替

50Hz

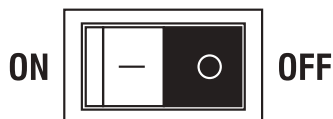


60Hz

8 周波数切替スイッチ

周波数の切り替え（50Hz⇄60Hz）を行うスイッチです。エンジンを始動する前に、接続する電気機器に合わせて周波数を切り替えてください。エンジン運転中に周波数を切り替えることができません。

エコスイッチ

**9 エコスイッチ**

ON（作動）：エコモードを使用します。電気機器を使用すると自動的にエンジンは電気の使用量に応じたエンジン回転数となり、電気機器を使用しないときは自動的に低速運転になります。燃料消費と騒音を減らします。

OFF（解除）：エコモードを使用しません。電気機器の使用の有無にかかわらず、エンジンは定格回転で運転します。

※消費電力の多い機械を接続する時、必ずエコモードをOFFにしてください。

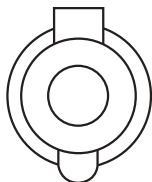
アース端子

**10 アース端子**

感電防止のアース線を取り付ける端子です。本機に接続する電気機器がアース付きプラグの場合は、本機も必ず接地（アース）してください。

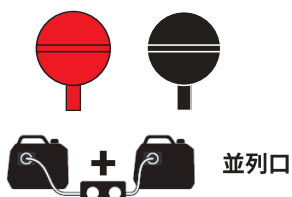
各部の取り扱い

DC12V 9.3V



11 シガーソケット

シガーソケットから車載炊飯器、冷温庫などに使えます。また、付属の充電ケーブルでバイク、トラクターなどの12Vバッテリーが充電できます。



12 並列運転端子

並列運転をする時にコンセントボックスコードを差し込む端子です。接続コードは並列運転コンセントボックス（別売部品）を必ず使用してください。コンセントボックスはお買い上げ販売店にご注文ください。



過負荷警告灯



出力表示灯



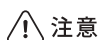
オイル警告灯

13 過負荷警告灯・出力表示灯・オイル警告等

過負荷警告灯（赤）： 発電中に使用電気機器に異常があった場合や、過負荷の時に出力表示灯が消え過負荷警告灯が点灯し、電気が供給されなくなります。

出力表示灯（緑）： 発電が始まると点灯します。インバーターが使用可能であることを示します。

オイル警告灯（赤）： 本機にはオイルが少ない場合に自動的にエンジンが停止するオイルアラート機構が内蔵されています。エンジンオイルが不足し焼付きが起る前にこの機構が働き、エンジンを停止させオイル警告灯が点灯します。



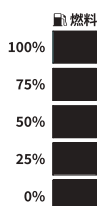
注意

電気機器によって起動時に起動電力が消費電力の1.1倍～5.0倍位掛かることもあるので、使用したい電気機器の起動電力の合計が2800W以下であることを確認してください。



14 パワーインジケータ

電力使用目安を示すものです。電気使用量が増加するにつれて0%→100%の順に点灯します。



15 燃料インジケータ

燃料の残量を示すものです。ガソリンが減るにつれて100%→0%の順に消灯します。

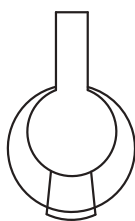
各部の取り扱い



電圧・周波数・電流・出力・時間

16 LCD-モニター

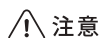
発電機の出電圧、周波数、出力電流、出力ワット数や累積使用時間はローテーションで表示されます。



充電口

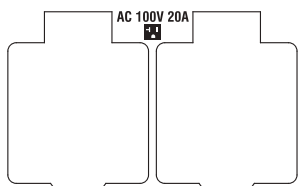
17 バッテリー充電口

内蔵バッテリーを充電できる専用ACアダプター（付属品）の出力プラグを差し込む端子です。発電機の内蔵バッテリーの残量が少なくなり、セルスタートができない時は専用アダプターを使って充電してください。



注意

バッテリーを専用ACアダプターで充電する場合は必ずエンジンを停止してから行ってください。また、専用ACアダプター以外は使用しないでください。バッテリーの故障や破裂の原因となります。

**18** AC出力コンセント20A

AC出力コンセント20Aから普通の電気機器に給電可能です。電気機器の消費電力の合計が2000Wを超えないようにしてください。

USBポート

**19** USBポート

USBポートからスマホ、タブレットなどのUSB機器に充電できます。

- ・ USB-Aポート (QC3.0 18W) : 5V-3A/9V-2A/12V-1.5A
- ・ USB-Cポート (PD 18W) : 5V-3A/9V-2A/12V-1.5A

3-1

運転前の点検

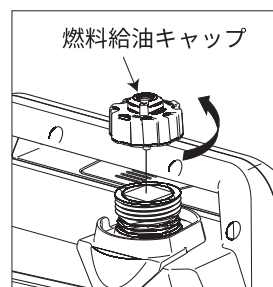
本機には「燃料」と「エンジンオイル」の2種類が必要です。下記をよくお読みいただき、必ず給油してからご使用ください。

燃料の給油

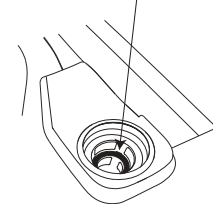
燃料タンクキャップを外し、燃料を給油します。作業は本機を水平にして行ってください。2回目以降の使用時：中にガソリンが残っていても劣化している恐れがあります。30日に1回、新しいガソリンに交換してください。

使用燃料：
無鉛ガソリン(自動車用レギュラーガソリン)

燃料タンク容量：
3.6L(赤レベルまで)



レベル(給油限界位置)



警告



禁止

- ・給油中は、タバコの火や他の火種になるようなものを近づけないでください。また、金属部に手を触れるなどして、身体に帯電した静電気を除去してから給油作業を行ってください。
- ・エンジンが熱い時は給油しないでください。エンジン停止直後などエンジンが熱い時に給油すると引火のおそれがあります。



指示

- ・給油は、換気の良い場所でエンジンを停止してから行ってください。
- ・燃料を飲み込んだり、燃料蒸気を吸い込んだり、または燃料が目に入ったりした場合は、直ちに医師の診断を受けてください。また燃料が皮膚や衣類にこぼれた場合は石鹸と水で直ちに洗い、衣類は取り替えてください。
- ・必ず無鉛レギュラーガソリンを補給してください。高濃度アルコール含有燃料を補給すると、エンジンや燃料系などを損傷する原因となります。

注意



禁止

- ・燃料は規定量以上(ストレナーの赤レベル以上)、給油しないでください。燃料が漏れるおそれがあります。
- ・軽油、灯油や粗悪ガソリンなどを補給したり、不適切な燃料添加剤は使用しないでください。エンジンなどに悪影響を与えます。
- ・古い燃料は使用しないでください。携行缶などで長期保管したガソリンは、エンジン始動不良や故障の原因となります。

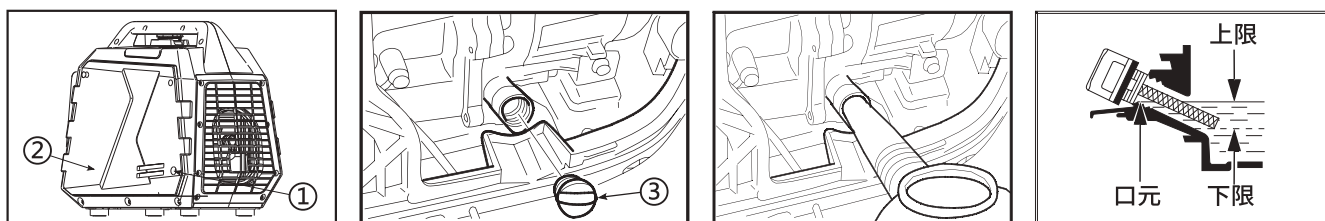


指示

- ・ガソリンは自然劣化しますので30日に1回、定期的に新しいガソリンと入れ替えてください。
- ・燃料の給油時、燃料タンク内に水・雪・氷・ゴミが入らないように注意してください。また、こぼれたときは、直ちに布きれなどで完全にふき取ってください。
- ・ガソリンを一時的に保管・運搬するときは、消防法に適合した携行缶を使用してください。特にペットボトルに保管すると、ガソリン内にペットボトルの成分が溶け出し、エンジンに悪影響を及ぼすおそれがあります。

エンジンオイルの給油

1. 脱着ネジ(右側)①を回し、防護カバー(右側)②を手前に引いて取り外します。
2. オイルプラグ③を外して漏斗(ロート)をオイル給油口に差し込み、本機を水平にしてエンジンオイルを規定量給油します。
3. 給油したらオイルプラグを取り付け、確実に締め付けます。保護カバーを取り付けます。



推奨オイル:

4サイクル用エンジンオイル

SAE10W-30もしくは10W-40API分類SE級以上

エンジンオイル規定量: 0.45L

規定量以上に入れると白煙が出て、出力に影響を与えます。不足の場合、かかった後しばらくすると停止になります。

警告



禁止

- ・給油中は、タバコの火や他の火種になるようなものを近づけないでください。また、金属部に手を触れるなどして、身体に帯電した静電気を除去してから給油作業を行ってください。
- ・エンジンが熱い時は給油しないでください。エンジン停止直後などエンジンが熱い時に給油すると引火のおそれがあります。



指示

- ・給油は、換気の良い場所でエンジンを停止してから行ってください。
- ・燃料を飲み込んだり、燃料蒸気を吸い込んだり、または燃料が目に入ったりした場合は、直ちに医師の診断を受けてください。また燃料が皮膚や衣類にこぼれた場合は石鹼と水で直ちに洗い、衣類は取り替えてください。
- ・必ず無鉛レギュラーガソリンを補給してください。高濃度アルコール含有燃料を補給すると、エンジンや燃料系などを損傷する原因となります。

本機周辺の点検

- ・燃えやすい物(特にガソリンやエンジンオイルなど)や危険物は置いていませんか。
- ・周囲に火の気はありませんか。
- ・風通しは良いですか、また換気は十分ですか。
- ・使用場所が小石、土、砂利等で凸凹していたり、やわらかい場所で使用していませんか。やむを得ず使用する場合は、本機の下に板などを敷いて本機を安定させてください。
- ・傾斜地で使用していませんか。
- ・使用場所が小石、土、砂利等で凸凹していたり、やわらかい場所で使用していませんか。やむを得ず使用する場合は、本機の下に板などを敷いて本機を安定させてください。
- ・建物および他の設置物から1m以上離れていますか。また、排気口および吸気口は風通しの良い、広い場所に向けてありますか。

エンジンの始動前の確認事項

- エンジンオイルは適量充填されていますか。
- 燃料は購入1か月以内の新鮮なものが適量充填されていますか。
- 周囲に燃えやすい物（特にガソリンなど）や危険物は置いていませんか。
- 周囲に火の気はありませんか。
- 風通しは良いですか、また換気は十分ですか。
- 使用場所が小石、土、砂利等で凸凹していたり、やわらかい場所で使用していませんか。やむを得ず使用する場合は、本機の下に板などを敷いて本機を安定させてください。
- 傾斜地で使用していませんか。
- 建物および他の設置物から1m以上離れていますか。
また、排気口および吸気口は風通しの良い、広い場所に向けてありますか。

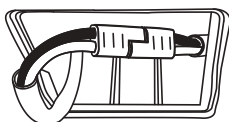
 警告

禁止

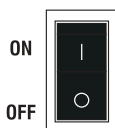
- 車内、テント内、倉庫など室内および換気の悪い場所ではエンジンを始動しないでください。エンジンの排気ガスには有害な物質が含まれているため、ガス中毒を起こす原因となります。

エンジンの起動

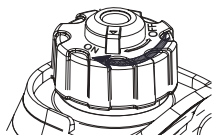
1. バッテリーコネクタを接続します。
エンジンを始動する前には、予めバッテリー配線コード(赤黒)のコネクタを接続する必要があります。右面の防護カバーを外し、下図のようにバッテリー配線コードのコネクタを接続します。



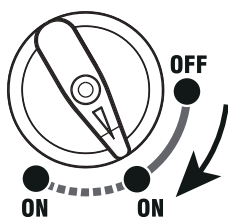
2. バッテリースイッチを **ON** にする



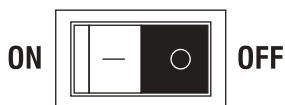
3. 燃料タンクキャップつまみをON(開)にします。



4. 燃料コックを[ON](開)にします。(燃料コックを回す途中でフリーズすることがありますが、正常な動作です。そのまま回してください。)



5. エコスイッチを **OFF** にする。



6. エンジンを始動します。

6.1【セルスタートボタンで始動する場合】

セルスタートボタンを奥まで押してクリック感を感じたら離します。

△注意:

①ボタンを押してもセルモーターが回転しない場合は、バッテリーコネクタの未接続とバッテリーの消耗が考えられます。

②長時保管後、バッテリーの残量が少なくなり、セルスタートができないことがあります。この時はリコイルスターターで始動してください。または、専用ACアダプターを使ってバッテリーを充電してから再度セルスタートしてください。

③セルスタートボタンを短く押してください。長押しすれば緑色に光りますがエンジンが起動しないことがあります。

6.2【リモコンスタートキーで始動する場合】

ペアリング済みの状態でON ボタンを2秒間長押しするとエンジンが起動します。OFF ボタンを2秒間長押しするとエンジンが停止します。

△注意:

①発電機とリモコンは出荷時に既にペアリングされています。

②本リモコンの有効距離は20mですが、リモコンと発電機との間に障害物があると、操作できないことがあります。

③リモコンの電池が消耗してくると、操作できる距離が徐々に短くなります。早めに新しい電池に交換してください。リモコン電池の種類はCR2016(12V/27A)となります。

6.3【リコイルスターターで始動する場合】

リコイルスターターグリップを軽く引き出し、重くなった状態から勢いよく引き、エンジンを起動させます。リコイルスターターグリップは手を添えてゆっくりと元に戻してください。

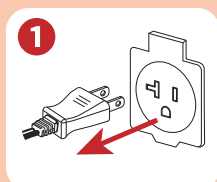
エンジンの停止

1. 電気機器のスイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜きます。
2. セルスタートボタンを押してエンジンを停止します。または、セルスタートキーを[OFF]にします。
3. バッテリースイッチを[OFF]の位置にします。
4. 燃料コックを[OFF]にします。

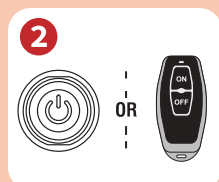
⚠ 注意: 必ずセルスタートボタンを押して、エンジンを停止してから、バッテリースイッチを[OFF]にしてください。直接バッテリースイッチを[OFF]にすると、電気回路のトラブルにつながります。

QUICK STOP

停止



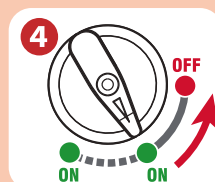
電源プラグを抜く



2通りの停止が可能
 ●セルスタートボタンを押す
 ●リモコンスタートキーのOFFを押す



バッテリースイッチをOFFにする



燃料コックをOFFにする



燃料タンクキャップをOFFにする

警告



禁止

- ・雨の中や水のかかる場所では使用しないでください。雨や水で濡れた発電機や接続の電気機器を使用したり、また濡れた手で操作すると感電するおそれがあり危険です。
- ・エンジンを始動する前に電気機器を接続しないでください。

注意



指示

- ・リコイルスターターグリップは勢いよく引いてください。始動時のエンジン回転が速くなると、点火火花が飛びエンジンがかかります。エンジン回転が遅いとエンジンがかからないことがあります。
- ・リコイルスターターハンドルを数回引いてエンジンが始動しない時は、20分間ほど発電機を換気性の良い場所に置いて、再度起動を試みてください。

かんたんスタート/ストップガイド

(お使いになる前、取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。)

QUICK START

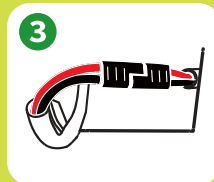
始動



1 ガソリンを入れる



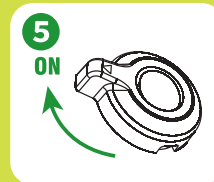
2 オイルを入れる



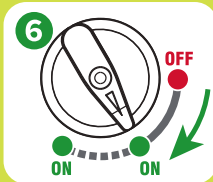
3 バッテリーコネクターを接続する



4 バッテリースイッチを ON にする



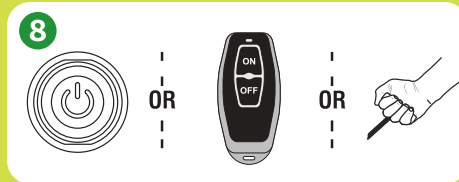
5 燃料タンクキャップを ON にする



6 燃料コックを ON にする

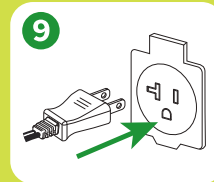


7 エコスイッチを OFF にする



8 3通りの始動が可能

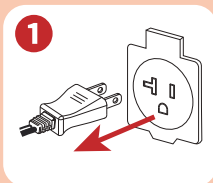
- セルスタートボタンを押す
- リモコンスタートキーの ON を押す
- リコイルスタートグリップを引く



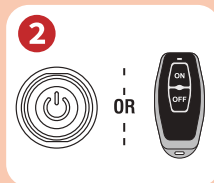
9 電源プラグを差す

QUICK STOP

停止



1 電源プラグを抜く

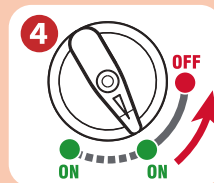


2 2通りの停止が可能

- セルスタートボタンを押す
- リモコンスタートキーの OFF を押す



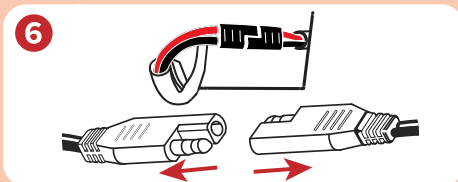
3 バッテリースイッチを OFF にする



4 燃料コックを OFF にする



5 燃料タンクキャップを OFF にする

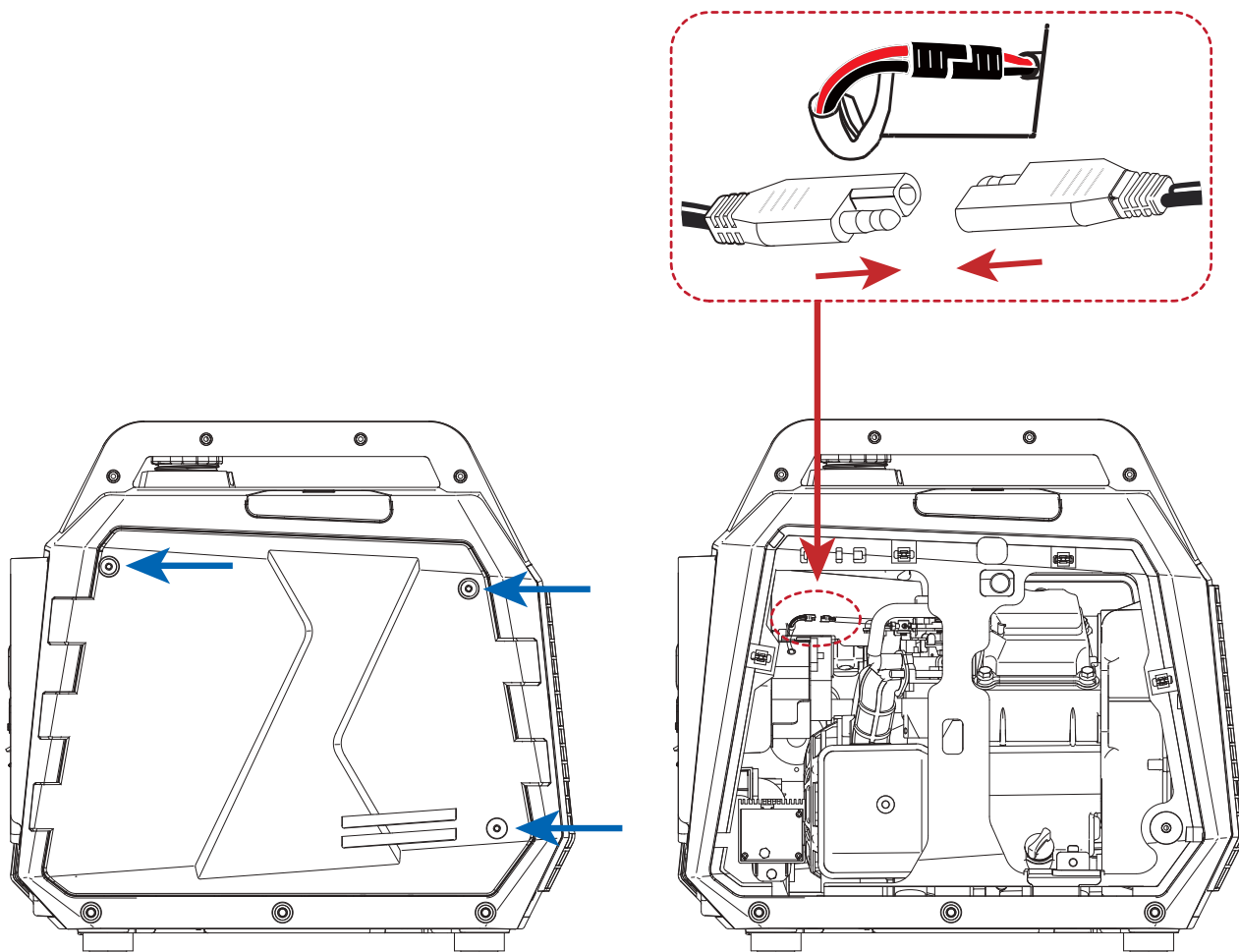


●ご使用後長期間(約3ヵ月以上)使用しない場合は
ガソリンとオイルは全部抜いてください。

長期間使用しない場合は、バッテリーコネクターを外してください。

4-4

防護カバーの外し方とバッテリーコネクターの位置



上図の3カ所のネジを緩めます。
防護カバーを付属のドライバーの
マイナス側でこじるように外します。

バッテリーコネクターは出荷時外してい
ます。上図の箇所にあるコネクターを接
続してください。

AC電源

- 1.周波数切換スイッチを接続する電気機器の周波数に合わせます。
 - 2.発電機に接続する電気機器を大地にアースした場合は、発電機の本体も必ずアースしてください。
 - 3.「発電機のかげかた」に従ってエンジンを始動します。数秒後、出力表示ランプ(緑)が点灯していることを確認します。
 - 4.接続する電気機器のスイッチが切れていることを確認し、ACコンセントへ電気機器のプラグを確実に差込みます。
 - 5.電気機器のスイッチを入れます。正常運転(定格負荷)でご使用の場合は、出力表示ランプ(緑)が点灯し続けます。
 - 6.過負荷運転や使用電気機器が異常を起こした場合は、出力表示灯(緑)が消え、過負荷警告ランプ(赤)が点灯し続け、電気が供給されなくなります。
- この場合、電気機器のプラグを取り外してください。そして、ACリセットスイッチを押してリセットすることで、出力表示ランプ(緑)が点灯し電気の供給が再開されます。

DC電源 12V

車載用電気機器に給電する場合：

- 1.「発電機のかげ方」に従ってエンジンを始動します。
- 2.接続する車載用電気機器のスイッチが切れていることを確認し、シガーソケットへ車載用電気機器のプラグを確実に差込みます。
- 3.車載用電気機器のスイッチを入れます。正常運転(定格負荷以内)でご使用の場合は、出力表示ランプ(緑)が点灯し続けます。

車バッテリーに充電する場合：

- 1.シガーソケットにバッテリー充電用コードを接続します。
- 2.12Vバッテリーにワニ口クリップを接続します。
注意：ワニ口クリップの赤が+、黒が-です。+と-の極性を間違いなく接続してください。
- 3.「発電機のかげ方」に従ってエンジンを始動します。
- 4.正常運転(定格負荷以内)でご使用の場合は、出力表示ランプ(緑)が点灯し続けます。
注意：充電時間はバッテリーの放電時間によって異なりますので、比重計でバッテリー液の比重をチェックしながら充電してください。バッテリー液の比重が1.26~1.28になれば充電完了です。

 警告


・電力会社からの電気配線には絶対に接続しないでください。火災や人身事故、本機や本機に接続された電気機器が故障する原因となります。

 注意


・電気器具の合計負荷(交流、直流の合計)が発電機の取り出し可能範囲を超えた過負荷で使用しないでください。発電機損傷の原因となります。



・精密機器・電子制御機器・パソコン・電子計算機・マイコン付機器および充電器類への使用は、発電機のエンジンノイズ(原動機雑音)の影響を受けない距離を確保してください。また、近くにある他の電気製品がエンジンノイズ(原動機雑音)に影響されないことを確認してください。

・医療機器への使用は、事前に医療機器会社・医師・病院などに確認の上ご使用ください。

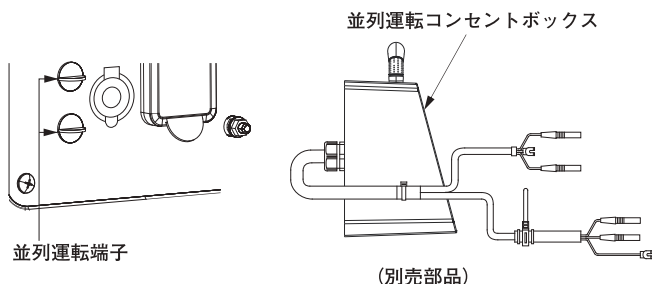
・電気工具類・汎用モーター類の一部には、取り出し可能範囲が上記表内の数値内でも起動電流が大きく使用できないことがあります。この場合は電気器具メーカーにご相談ください。

・コンプレッサや水中ポンプなど、起動時に大電流が流れる電気器具を使用したとき、過負荷警告ランプが数秒間点灯する場合がありますが、これは故障ではありません。

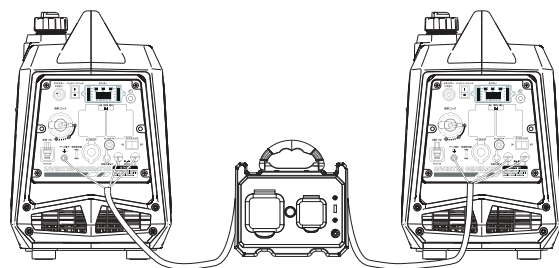
並列運転

この発電機はSIG2500PA同士(2台)の組み合わせで並列運転することができます。

1. 並列運転コンセントボックス(別売部品)のコードをそれぞれの発電機の並列運転端子とアース端子に接続します。



2. 二つの発電機の周波数切換えスイッチを接続する電気機器の周波数にあわせます。



3. 並列運転コンセントボックスに接続する電気機器を大地にアースした場合は、並列運転コンセントボックスの本体も必ずアースしてください。

4. 「発電機のかげ方」に従ってそれぞれの発電機を始動します。

5. 接続する電気機器のスイッチが切れていることを確認し、並列運転コンセントボックスのコンセントへ電気機器のプラグを差込みます。

6. 電気機器のスイッチを入れます。正常運転でご使用の場合は、二つの発電機の出力表示ランプ(緑)が点灯し続けます。

警告









- 指定する発電機以外には絶対に接続しないでください。
 - 並列運転を行っているとき、並列運転コンセントボックスコードを外さないでください。
- 並列運転コンセントボックスは、エンジン始動前に接続し、エンジン停止後に外してください。

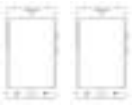





注意

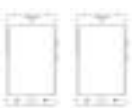






- 単独運転をする時は並列運転コンセントボックスコードを必ず外してください。並列運転コンセントボックスコードを接続したまま、一方の発電機のエンジンを止めて、電気を取らないでください。
- エンジン起動前に、接続する電気機器のスイッチが切れていることを確認してください。電気機器のスイッチが入っていると、電気機器が急に作動し、思わぬケガや事故を起こす可能性があります。

使える機器の例






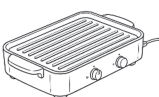

例①	スマホ充電×4	電気スタンド	テレビ(32型)	ノートパソコン	電気こたつ	電子レンジ	必要な電力合計
							
消費電力	60W	40W	120W	100W	500W	1100W	1920W
起動電力	60W	40W	120W	100W	500W	1500W	2320W

例②	スマホ充電×4	電気スタンド	テレビ(32型)	ノートパソコン	家庭用冷蔵庫	IH炊飯器(3合炊き)	必要な電力合計
							
消費電力	60W	40W	120W	100W	250W	700W	1270W
起動電力	60W	40W	120W	100W	1000W	700W	2020W

例③	スマホ充電×4	ノートパソコン	ハロゲンライト	電気丸ノコ	冷蔵庫(小型)	必要な電力合計
						
消費電力	60W	100W	250W	600W	100W	1110W
起動電力	60W	100W	500W	1200W	400W	2260W

その他電気機器の電力例

使用する電気機器の起動電力合計で判断してください

	ラジカセ	電気ドリル	家庭用扇風機	ノートパソコン	電気ケトル	ホットプレート	コーヒーメーカー
							
消費電力	150W	500W	50W	100W	1300W	1300W	650W
起動電力	150W	900W	80W	100W	1300W	1300W	650W

- モーターを搭載した電気機器は、電源を入れた時に大きな電力(起動電力)が必要です。電気機器の消費電力の2倍～4倍を目安に、常に余裕をもった出力の発電機を使用してください。
- 電気機器の消費電力・起動電力は目安です。実際の消費電力は電気電動機器メーカーにお問い合わせください。
- 使用する電気機器によっては、本機とのマッチング上、不具合が発生する事があります。接続機器メーカーにお問い合わせください。
- 直流(DC)電源ではエコモードは使用できません。エコモードスイッチを「OFF」にしてご使用ください。

定期点検表

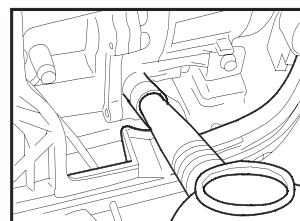
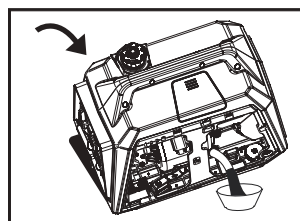
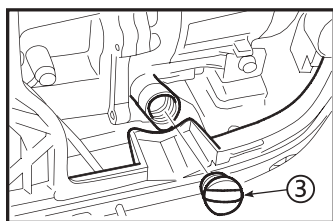
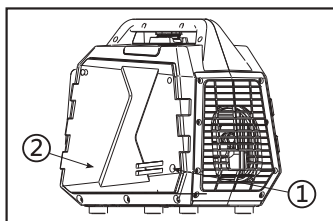
対象部品	点検項目	毎使用前	初回の1ヶ月後 または 20時間 運転後	3ヶ月毎 または 50時間 運転毎	6ヶ月毎 または 100時間 運転毎	12ヶ月毎 または 200時間 運転毎
エンジンオイル	・量の点検	●				
	・交換		●※1		●	
燃料	・量、漏れの点検	●				
エアクリーナー	・損傷、劣化の目視と 指触による点検	●				
	・清掃			●※2		
点火プラグ	・点検と清掃				●	
	・交換					●
燃料タンクストレーナー	・汚れ、詰まりの目視点 検および清掃				●	
マフラーワイヤネット	・清掃				●	
外装	・取り付けボルトのゆる み確認			●		

※1 初回のみ、1ヶ月後または20時間運転後にオイル交換を行ってください。

※2 ほこりの多い場所で作業した場合は、定期点検時期より早めに点検を行ってください。

エンジンオイルの交換

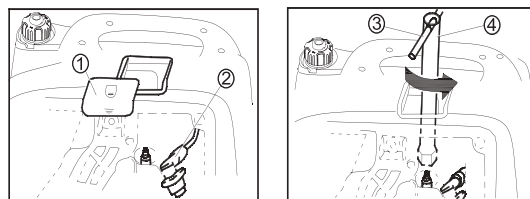
1. エンジンを始動し、2～3分暖気運転をしてから停止します。エンジンオイルが排出しやすくなります。
2. 排出するエンジンオイルを受け取る容器を用意します。
3. 防護カバーを手前に引いて取り外します。
4. オイルプラグ③を外し、付属のエンジンオイル排出用ホースを取り付けます。
5. 発電機本体を傾けてエンジンオイルを抜きます。
6. 付属のエンジンオイル排出用ホースを外し、漏斗をオイル給油口に差し込みます。
7. 本機を水平にしてエンジンオイルを規定量給油します。
8. 給油したらオイルプラグを取り付け、確実に締め付けます。保護カバーを取り付けます。



推奨オイル:4サイクル用エンジンオイル SAE10W-30もしくは10W-40API分類SE級以上
エンジンオイル規定量: 0.45L

点火プラグの点検と清掃

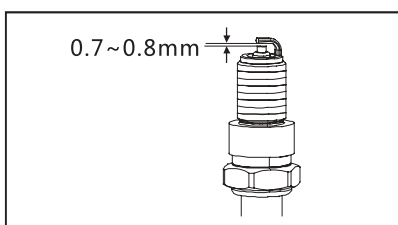
1. 点火プラグメンテナンスカバー①を取外します。
2. 点火プラグキャップ②を点火プラグより外します。
3. プラグレンチハンドル③、プラグレンチ④で点火プラグを取外します。



4. スパークプラグの焼け具合を点検します。電極付近は通常キツネ色に焼けますが、黒くくすぶっていたり白く焼けていたときはパーツクリーナーまたはワイヤーブラシで汚れ(カーボン)を落とします。
5. 電極のすき間を確認し、下記寸法になっていない場合は調整します。

指点火プラグ: CR6HSA(NGK)

電極のすき間: 0.7~0.8mm



6. 取り付けはまず手で一杯までねじ込み、次にプラグレンチで確実に締付けます。
7. 点火プラグキャップを点火プラグに確実に取付けます。
8. 点火プラグメンテナンスカバーを取付けます。

⚠ 注意

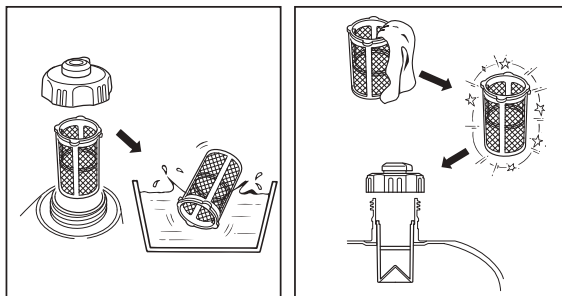


指示

・やけどをしないよう、作業はエンジンが冷えてから行ってください。エンジン停止直後のエンジン本体や排気口、点火プラグなどは非常に熱くなっています。

燃料タンクストレーナーの清掃

1. 燃料コックとバッテリースイッチを「OFF」の位置にしてエンジンを停止します。
2. 燃料タンクキャップおよびストレーナを取り外します。
3. ガソリンを使ってストレーナを洗浄します。
4. ストレーナをふいて燃料タンクに挿入します。
5. 燃料タンクキャップを取付けます。



⚠ 警告

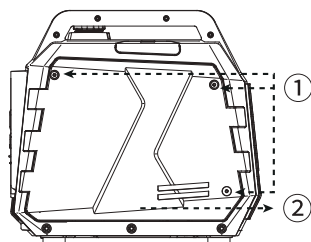


禁止

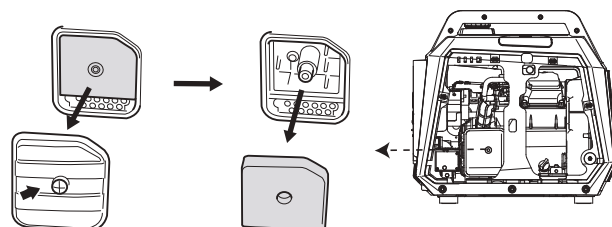
・ガソリンは引火しやすいので、タバコの火や他の火種になるようなものを近づけないでください。火災の原因になります。

エアクリーナエレメントの清掃

1. 右側の脱着ネジ①を回し、防護カバーを手前に引いて取り外します。



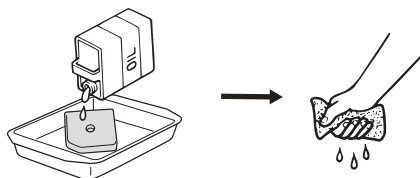
2. スクリュをゆるめて、エレメント(空気ろ過部)を取り外します。



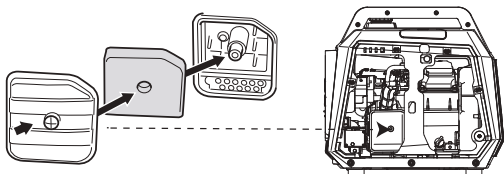
3. 「洗い油」または「水で薄めた中性洗剤」でエレメントを洗浄します。押しつぶす様に洗浄後、エレメントを布で包ようにしぼります。



4. エレメントをエンジンオイルにひたし、押しつぶすようにしぼります。オイルが垂れない程度に余分なオイルを取り除いてください。



5. エレメントをエアクリーナ本体にはめ込みます。エアクリーナカバーを元の位置に戻し、スクリュを締め付けます。



6. エアクリーメンテナンスカバーを確実に取付けます。

警告



禁止

・洗い油は引火しやすいので、タバコの火や他の火種になるようなものを近づけないでください。火災の原因になります。

注意



禁止

・エレメントは絶対にきつく絞らないでください。破れてエンジンが不調になることがあります。
・エレメントを取り付けていない状態ではエンジンを絶対に始動させないでください。ピストンやシリンダーの摩耗の原因になります。

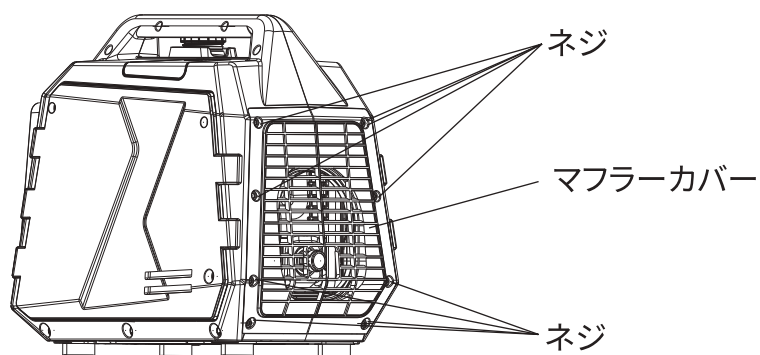


指示

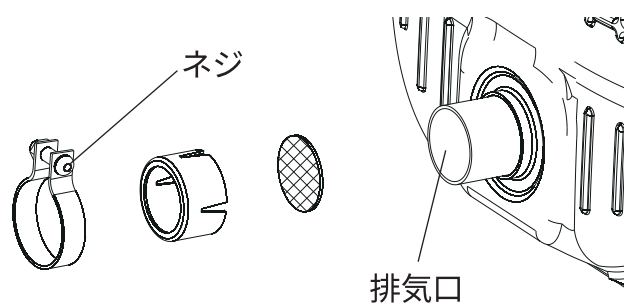
・エアクリーナーが目詰まりすると出力不足や燃料消費が多くなるので、ほこりの多い場所で使用した場合は、定期点検時期より早めに清掃してください。

排気口／マフラーワイヤネットの清掃

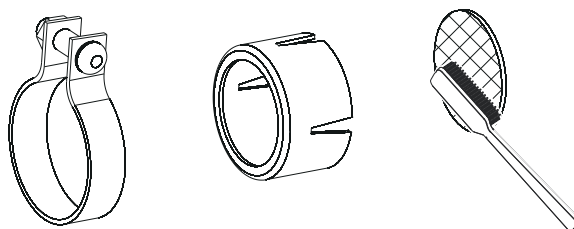
1. マフラーカバーをとめているネジを外しマフラーカバーを取り外します。



2. マフラーワイヤネットをとめているネジを外しマフラーワイヤネットを取り外します。*ネジなどの部品を紛失しないようにご注意ください。



3. マフラーワイヤネットに付着していたカーボンを、ワイヤブラシなどで落としてください。

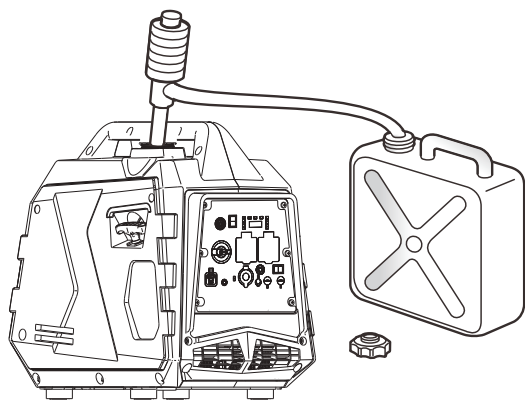


4. 取り外しと逆の手順で取り付けます。

発電機を自動車・トラックなどの車両で運搬する場合は、以下を必ず守ってください。

運搬の場合

1. 燃料コックとバッテリースイッチを「OFF」の位置にします。
2. エンジンが十分に冷えてから、燃料タンクキャップつまみを「OFF」の位置にします。
3. 燃料タンクキャップおよびストレーナを取り外し、市販の手動式ガソリン用ポンプを使用して燃料を抜きます。なお、電動式ポンプは使用しないでください。



4. 燃料タンクキャップおよびストレーナを取り付けます。
5. 本機が落下、転倒、破損などしないような場所を選んで積載し、ロープなどでしっかり固定します。

警告



- ・振動、衝撃などで燃料タンクの燃料がこぼれるおそれがありますので、燃料タンクに燃料を給油したまま運搬しないでください。
- ・燃料が気化して引火するおそれがありますので、発電機を車内やトランクなどに積載したまま、長い時間直射日光の当たる場所に放置しないでください。
- ・火災のおそれあり、車両に積載したまま使用しないでください。
- ・発電機の上に重い物を置かないでください。

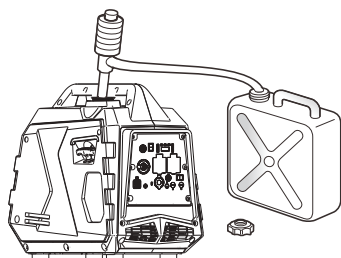


- ・火災のおそれがありますので、予備の燃料は消防法に適合した鉄製の携帯タンクに保管してください。
- ・本機が移動、横倒、落下、破損などしないような位置に積載してください。特に横倒したまま運搬すると、エンジンがかからなくなるなど、エンジン故障の原因となります。

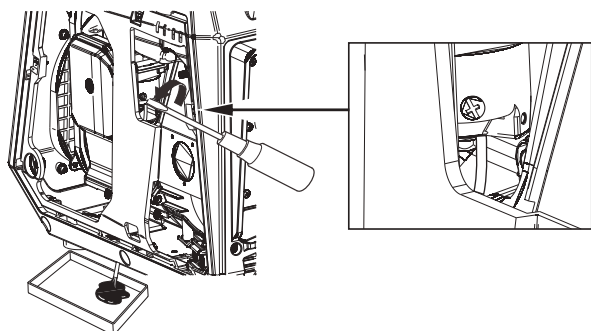
使用後または定期運転後、次回の使用が3ヶ月以降になる場合は「一時保管」を、それ以上長期に渡って使用しない場合は「長期保管」を行ってください。これらを行わないと、故障の原因となります。

一時保管の場合

1.燃料タンクキャップおよびストレーナを取り外し、市販の手動式ガソリン用ポンプを使用して燃料を抜きます。なお、電動式ポンプは使用しないでください。



- 2.燃料タンクキャップおよびストレーナを取り付けます。
- 3.燃料タンク内のガソリンを抜いた後、発電機を起動します。(16ページ参照)
- 4.無負荷運転(電気機器は接続しない)を行ってまます。エンジンが「ガス欠状態」で停止するまで待ちます。燃料タンク内の燃料残量によって「ガス欠状態」になるまでの時間は変わります。
- 5.エンジンが停止しましたら、右側の防護カバーのネジをゆるめて、防護カバーを取り外します。
- 6.排出するガソリンを受ける容器を用意します。
- 7.キャブレターのドレンパイプを容器で受け、ドレンネジをドライバーで緩め燃料を抜きます。キャブレター内のガソリンを抜かずに長期間放置すると、ガソリンが変質しエンジンがかからなくなる場合があります。



- 8.ドレンネジを締め付け、ドレンパイプを元に戻します。
- 9.防護カバーを取り付けて、ネジを確実に締め付けます。
- 10.燃料コックとバッテリースイッチを「OFF」の位置にし、燃料タンクキャップつまみを「OFF」の位置にします。
- 11.室内で湿気が少なく換気の良い場所に保管します。

長期保管の場合

- 1.“一時保管”の1～10の作業を行います。
- 2.点火プラグを外し、プラグ孔からエンジンオイルを3～5mL給油します。
- 3.リコイルスターターグリップを2～3回ゆっくりと引いた後、点火プラグを取り付けます。
- 4.リコイルスターターグリップを引き、重くなった状態(圧縮状態)にします。
- 5.各部の水、ほこりなどの汚れをきれいに清掃します。
- 6.発電機にカバーを掛け、室内で湿気が少なく換気の良い場所に保管します。

故障は行き届いた点検整備により未然に防ぐことができます。故障の多くは、取扱いの不慣れや不十分な点検に起因しています。まずご自身で次の点検を行い、その上でなお異常がある場合はむやみに分解しないでお買い上げの販売店にお問い合わせください。

症状	考えられる原因	処置	参照ページ
エンジンが 始動しない	燃料が入っていない	燃料を入れる	13ページ
	オイル警告ランプ(赤)が点灯している →エンジンオイルが入っていない、量が少ない	エンジンオイルを給油する	14ページ
	燃料タンクキャップつまみがOFFになっている	ONにする	16ページ
	エンジンのかけ方に不足などがある	正しいかけ方を再確認する	16ページ
	燃料コックの位置調整	ONにする	16ページ
	バッテリーコネクタ接続しているか	コネクタを接続する	16ページ
	エアクリーナーの汚れ	エアクリーナーの清掃	26ページ
	点火プラグかぶり、汚れ、破損	点検・清掃・交換	25ページ
	本機が傾いている → オイルアラート機構の作動	水平にする	14ページ
	問題のある燃料、エンジンオイルによる エンジン不調	正しい燃料・エンジンオイル に入れ替え	13ページ 24ページ
エンジンが 数分動いた 後止まる	複数の電気機器を使用するなど急に大きな電気を取り出した	電気を少しずつ取り出す	23ページ
	点火プラグの劣化	点火プラグの点検・交換	25ページ
	キャブレターが詰まっている	キャブレターの清掃	販売店に問い合わせください
マフラーから 白煙が出る	エンジンオイルの入れ過ぎ	エンジンオイルを排出して規定量を注入する	24ページ
	SA級など、指定以外のエンジンオイルを使用する	指定のエンジンオイルを使用する	14ページ
電気が供給 されない	過負荷警告ランプ(赤)が点灯・点滅、出力ランプが消灯する	過負荷の原因または使用器具の異常を改善する	20ページ
	水中ポンプ、コンプレッサーなど、起動時に大電流が流れる電気機器を使用	エコモードをOFFにする	10ページ
	シートをかぶせている、または屋内で使用するなどして本機の温度が高くなっている	本機周辺を点検する、または屋外で使用する	14ページ
ガソリン漏れ	ドレンネジが緩む。	カバーを外し、キャブレターのドレンネジを締める。	28ページ

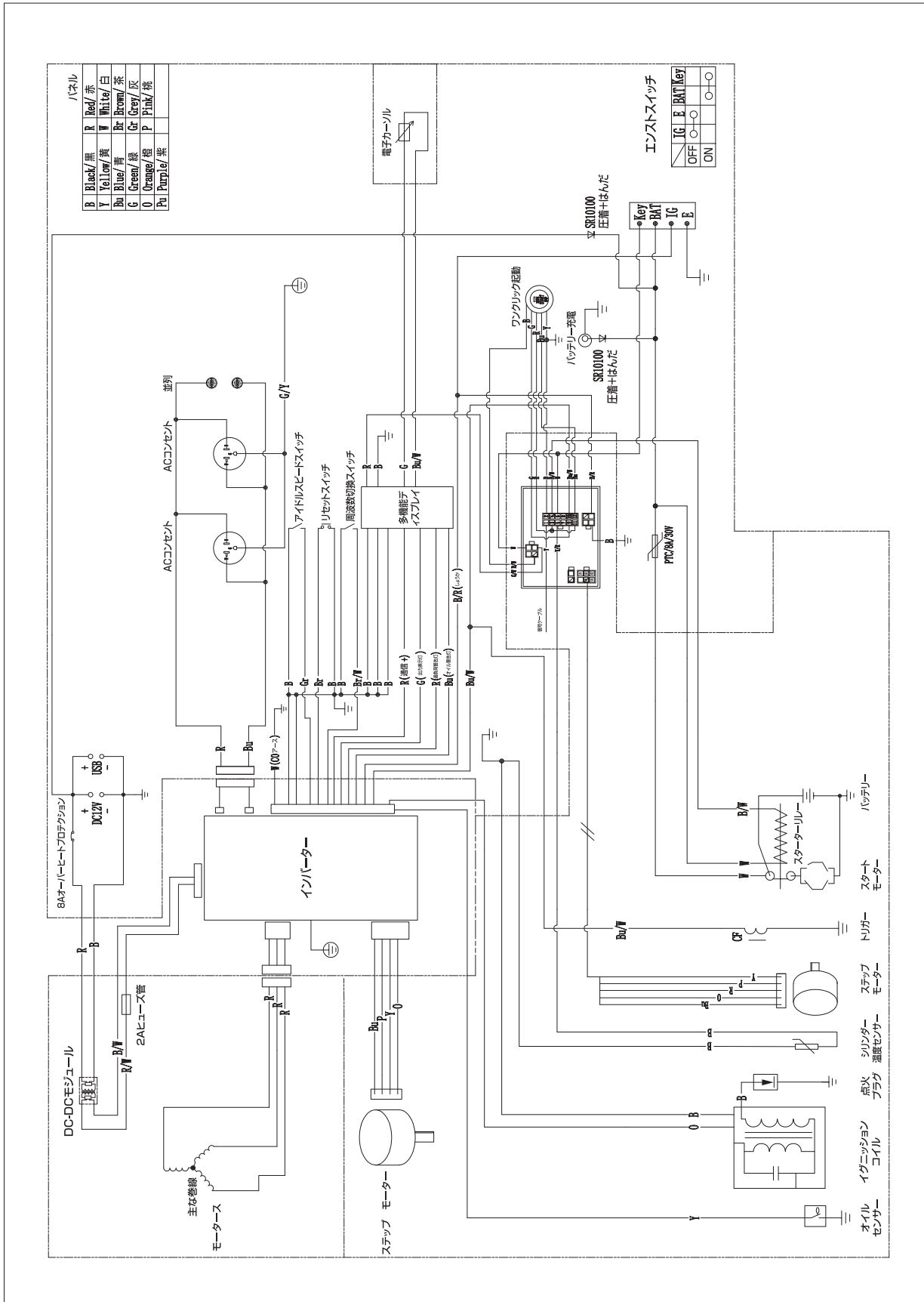
型番	SIG-2500PA	
発電部型式	多極界磁回転型	
相数	単相	
力率	1	
交流(AC)	定格出力	2.5kVA
	定格電圧	100V
	定格電流	18A
	定格周波数(切替式)	50Hz/60Hz
USB	定格電圧	DC5V
	定格電流	3A
シガーソケット(DC)	定格電圧	12V
	定格電流	8.3A
装備	交流過電流保護装置	電子式
	交流過熱保護装置	電子式
	直流過電流保護装置	電子式
	直流過熱保護装置	電子式
エンジン	エンジン種類	空冷4ストロークOHVエンジン
	総排気量	145cc
	使用燃料	無鉛レギュラーガソリン
	点火プラグ	CR6HSA(NGK)
	エンジンオイル	4サイクル用エンジンオイルSAE10W-30もしくは10W-40API分類SE級以上
	エンジンオイル規定量	0.45L
燃料タンク容量	3.6L	
連続運転時間	定格連続運転時:約2時間 1/4負荷連続運転時:約5.5時間 ※1	
騒音レベル(7m)	59dB※2	
始動方式	リコイルスタータ&セルスタータ	
適用環境標高	1500m以下の地域 ※3	
使用環境温度	-5°C~40°C	
寸法(全長×全幅×全高)	48.5×29×44.5cm	
乾燥重量	23 kg	

この仕様諸元は改良のため予告なしに変更することがあります。

※1：エコモードON時

※2：仕様諸元表に表示した騒音値は、エコモードON(作動中)時で、機側7m、四方向の算術平均値です。
異なる環境下での騒音はこの数値と変わる場合があります。

※3：標高1000mを超えると大気圧が低くなり空気密度が薄くなるため、発電出力が低下することがあります。



- ・本製品の保証期間はご購入より一年間となります。又は可動500時間保証。
- ・本製品の仕様は予告なしに変更する場合があります。予めご了承ください。
- ・本製品は使用電子部品の製造中止で、生産及び販売終了となる場合があります。予めご了承ください。
- ・お問い合わせの際、お客様へ確実に迅速に対応させていただくため、あらかじめ下記の事項をご確認の上、ご連絡ください。

①商品名

②ご購入先及びご注文番号

③故障の状況(できるだけ詳しくご説明ください。メールでお問い合わせいただいた場合は不具合症状に関する写真または動画を添付いただくと幸いです。)

・ご不明な点や故障に関するご相談は、ご購入の販売店、または下記営業窓口にお問い合わせください。

④本体の上部に貼られている JANコード上Lot№製造番号。



発売元 **株式会社パオック**

〒955-0061 新潟県三条市林町2-5-21

TEL:(0256)33-5574 FAX:(0256)33-5559

URL <https://www.paock.co.jp>

保証書

セル式インバーター発電機

取扱説明書・本体表示などの注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無償修理いたします。製品と本書をご持参のうえ、お買い上げの販売店にお申しつけください。

型名	セル式インバーター発電機 SIG-2500PA 型		販売店印、お買い上げ日 または、レシート貼付
※お客様	お名前	☎	
	ご住所 〒		
※お買い上げ日 年 月 日	※販売店名・住所		
保証期間 お買い上げ日より 本体1年	☎		

※印欄にご記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

- ご転居・ご贈答品などでお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、当社にご連絡ください。
- 保証期間内でも次の場合には有償修理になります。
 - (イ) 使用上の誤りや不当な修理・改造による故障および損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷。
 - (ハ) 火災・地震・水害・落雷・その他の天変地異・公害・塩害・虫害・ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧・指定外の利用電源(電圧・周波数)などによる故障および損傷。
 - (ニ) 極端な連続使用、過負荷での使用、酷使による不具合。
 - (ホ) 車両・船舶などに搭載された場合の故障および損傷。
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合。
 - (ト) 本書にお客様名・「販売店印およびお買い上げ日」または、「販売証明書やレシート」が無い場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - (チ) 消耗品などの交換。
 - (リ) 時の経過による変化で発生した不具合。(外観部品の退色、使用による傷など)
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- 本書は盗難・火災などの不可抗力以外で紛失された場合は再発行いたしませんので大切に保管してください。

- お客様にご記入いただいた記載内容は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
- この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を保証している者(補償責任者)およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または当社にお問い合わせください。

お客様の個人情報は、上記の目的以外には、一切使用いたしません。

発売元 **株式会社パオック**
〒955-0061 新潟県三条市林町2-5-21
TEL:(0256)33-5574 FAX:(0256)33-5559
URL <https://www.paock.co.jp>

HC738835 2601

